



医療法人 円会  
瀬口脳神経外科病院

# まどか

第9号

## 病院理念

- ・私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努めています
- ・私たちは、患者様のための心のこもった医療サービスを提供します
- ・私たちは、常に脳・脊髄疾患の専門病院として高度且つ最新の医療を提供します



撮影：中島一男

### 主な記事

- 手根管症候群について…………… 2・3
- 医師紹介…………… 6
- 病院創立記念行事…………… 4
- 外来診察案内…………… 6
- 防災訓練…………… 5
- 脳ドック案内…………… 6

# 手根管症候群について

瀬口脳神経外科病院  
医長 青山 達郎



「夜中、親指から中指まで痺れて痛い」  
こんな症状の方は手根管症候群の可能性があります。

手根管症候群は、手をよく使う仕事の方（パソコン従事者、主婦、力仕事）に多く、男性よりも女性に多いと言われています。決して珍しい病気ではなく、症状の程度は様々ですが、人口100人あたり約3人の割合で患者さんがいると言われています。

なぜ手の痺れや痛みが出るようになるのかといいますと、手首をよく使うこと（反復動作）によって、手根管を形成する靭帯が分厚くなり、手根管の中を通る神経（正中神経）を圧迫することで痛みや痺れを引き起こします。この正中神経が親指、人差し指、中指を支配しているので、これらの指にだけ症状が出るのです。厳密には、正中神経は薬指の内側半分も支配しているので、親指から薬指の内側まで痺れることもあります。

ただし、頸椎疾患でも同じ部位に痺れを引き起こすことがあり、より確実に診断するには頸椎MRI検査、神経伝導速度の測定、超音波検査などが必要です。

手根管症候群にはいくつか特徴的な症状があります。

- ①親指、人差し指、中指が痺れる（図1）。
- ②夜中に痛みや痺れで目が覚める。
- ③手を振ると楽になる。

これら3つが典型的です。最初は痺れや痛み症状のみですが、症状が進行すると親指の付け根の筋肉がやせてしまい物を落としたりやすくなります。運動麻痺が出てきている場合には早めの手術をお勧めします。

手術以外の治療方法には安静、内服治療などがありますが、家事や仕事の原因の場合には安静を保つのは難しいことが多いです。数ヶ月間、保存的治療を行っても症状が進行する場合や、日常生活に支障をきたすような場合に手術療法を選択します。局所麻酔

で行う、約30分程度の手術です。手のひらに3cmの皮膚切開を行い、厚くなった手根管の靭帯をメスで切って、正中神経の圧迫を取り除きます(図2)。

手首の安静を保つために1泊入院としていますが、手術翌日には退院可能です。

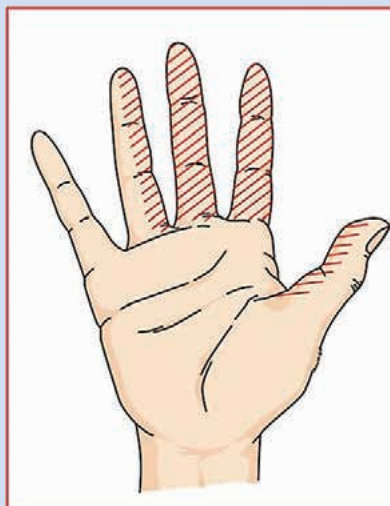


図1：親指から人差し指、中指、薬指の内側にしびれや痛みが出ます。これらの症状は夜から朝方にかけて強くなり、手を振ることで楽になります。

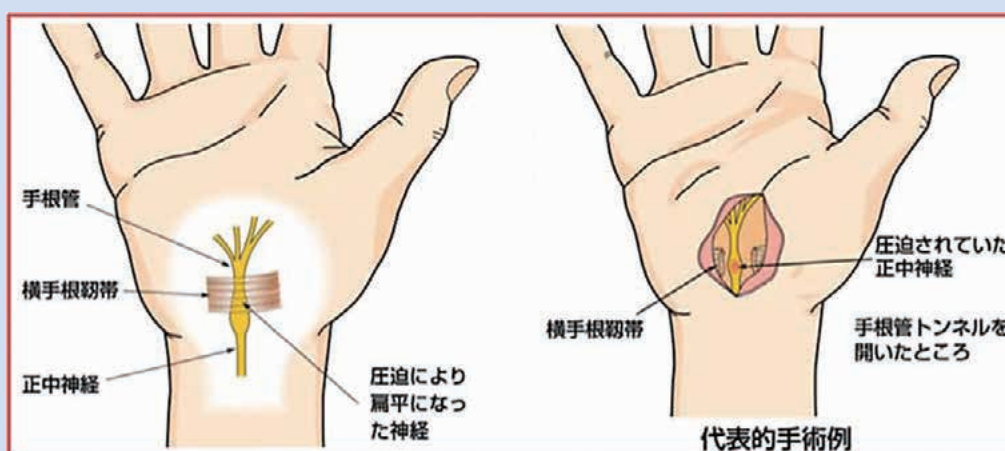


図2：局所麻酔を行い、手のひらの皮膚を3cm切開します。厚くなった靭帯を切って、正中神経の圧迫を取り除きます。

## 出張講演・講習会 実施しています！

当院では、脳卒中予防推進活動の一環として、脳外科専門医による出張講演・講習会を実施しています。脳卒中についての理解を深め、発症の予防や早期の対応などを知っていただく良い機会となります。

ご家族や地域の仲間、会社の仲間の健康を守るためにお役立てください。お問い合わせ、お申し込みは下記へお願いいたします。

瀬口脳神経外科病院 TEL：0265-24-7667

脳ドック室 FAX：0265-24-6776

E-mail：noudokku@seguchi-nouge.or.jp



# 病院創立記念行事

本年の6月6日に、瀬口脳神経外科病院は開院37周年を迎えることができました。これにあたり、医師からの講演を中心にした開院記念行事を同日開催致しました。



今年の講演は『頌椎・腰椎疾患の治療について』と題しまして医長の青山医師より講演をさせていただきました。青山医師は、脳神経外科のほか、脊髄外科をも専門としています。今回の講演では、首や腰の脊椎神経に起こる病気の、症状や治療法について紹介させていただきました。頌椎、腰椎の病気で出る症状と、脳の病気で出る症状との違い。保存的治療と手術の治療方法の選択についてなど、画像をふまえての講演となりました。参加者の方からは、自分の症状と照らし合わせて、どうしたらよいかアドバイスを求める様子や、予防方法などについての質問もあり、身近な話題の講演となりました。脳神経外科病院が、首や腰の病気や治療していることを、知っていただく良い機会となりました。



またその他にも催しとして、地域医療連携室「脳卒中と介護の関係」、薬剤科「医薬品副作用被害救済制度」、リハビリテーション科「認知症の早期発見と早期予防」と、各部署の特色を活かした掲示物の展示を行いました。現在は待合ホールに展示してありますのでご覧ください。

合わせて、実際の検査機器を使用した体験コーナー、看護科の血圧相談コーナー、栄養科からは、にんじんと豆腐のヘルシーケーキの提供もあり、皆さまより好評いただきました。

短時間の開催にも関わらず、多くの方にご参加いただき、大盛況の中、開院記念行事を終えることが出来ました。来年も皆さまの期待に応えられるよう準備を進めて参ります。多くの方のご来院をお待ちしております。



開院記念行事準備委員長 佐々木史光



# 「地震体験車」による防災訓練

去る、7月15日に「地震体験車」をお借りすることができました。過去の地震に相当する規模と同条件に設定していただき、また今後起こりうる地震も想定し体験できました。

過去の地震とは関東大震災、三陸沖地震、インドネシア・スマトラ沖地震等で、また今後起こりうる可能性のある地震とは東海地震の想定でした。

実際体験してみて、揺れの大きさには驚き、椅子に座っていることもできない状態。また家具等の転倒等は壮絶な状況となり予想以上でした。



現在当院でも防災訓練をおこなっており、また8月末にも包括医療協議会で行っている大規模災害医療救護訓練にも参加しています。しかし、だんだん危機感が薄くなっていく中で、防災知識・意識を高めるため貴重な体験ができました。

今後起こりうる大規模災害に備えて地域住民が少しでも安心できるような体制をとっていただければと思います。

防災対策委員長 木下晴夫

## 体験者の声（20代 女性スタッフ）

関東地震の揺れを体験しましたが、体が上下左右に激しく揺さぶられ、机につかまっているのがやっとなりました。とても怖かったです。今できることをやっておかなければと痛感しました。



## 体験者の声（30代 男性スタッフ）

地震体験車で過去の地震の揺れを体験しました。今までに感じたことのない揺れで立っていることもできず、机につかまっていたいます。実際にこの震度の地震が来たら大災害になると実感しました。この体験を活かし我が家でも日頃の備えをしっかりと防災対策を行っていこうと思いました。



# 医師紹介



長谷川 貴 俊 医師

平成 27 年 10 月 1 日より赴任致しました。

信州大学卒で、信大病院、県立こども病院、北信地域の病院での勤務を経て、この度初めて南信の病院で勤務させて頂くことになりました。

少しでも患者さんのお力になれるよう、努めていきたいと思ひます。また、患者さん、ご家族の方にとって理解しやすいような説明を心がけ、日々頑張つて診療を行いたいと思ひますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 外来診療時間

受付時間	月曜日～金曜日	午前 8 時 30 分から午前 11 時 30 分まで
	土曜日	午前 8 時 30 分から午前 11 時まで

## 休 診 日

日曜日、祝祭日、第 2・4 土曜日、第 1・3・5 土曜日午後、年末年始、盆休

## 担 当 医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午 前	瀬口達也 院長	青山達郎	瀬口達也 院長	中村昭則 (信大神経内科 教授)	瀬口達也 院長	銭坂英生 又は 他 医師
	長谷川貴俊 10 時から		長谷川貴俊 10 時から	村田貴弘 (信州大学)	青山達郎	

担当医は変更になることがありますので、電話にてお問い合わせください

**但し急患は 365 日 24 時間受け付けいたします**  
**☎ 0265-24-6655**

## 脳ドック ～随時予約受付中～



- ①一般コース:月～金曜日の午後に検査。後日、結果報告を実施。
- ②日帰りコース:奇数週の土曜日の午前に検査と結果報告を実施。

\*お申し込み、お問い合わせは下記ドック室へお願いいたします。  
 ドック室直通TEL:0265-24-7667 FAX:0265-24-6776  
 脳ドックメール:noudokku@seguchi-nouge.or.jp  
 ホームページ:http://www.seguchi-nouge.or.jp/

## 病院だより 第9号

発 行 ■医療法人円会  
 瀬口脳神経外科病院  
 住 所 ■長野県飯田市上郷黒田218番2  
 発 行 日 ■2015年10月  
 代表電話 ■0265-24-6655  
 問い合わせ先 ■医療支援部



肌寒くなり、山々がきれいに色づいてきました。金木犀の香りが漂い、マツムシやコオロギの声も響いてきます。おいしい果物や新米も収穫され、五感で楽しめる秋。満喫しましょう。